

提案団体名:                                 ジーマックスソリューション(株)                                 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容:各離島でも本島と同様にIoTを利用できるようにする

| (1)自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等   | 技術の分野  |
|--|--|
| <p><b>【製品】</b><br/>                     弊社が所有するハイブリッドクラウドプラットフォーム(クラウド)<br/>                     Wisbrain(SaaS、PaaS)を活用</p> <p><b>技術</b><br/>                     ①映像転送技術<br/>                     ②エッジAI技術</p> <p><b>導入実績</b><br/>                     国土交通省 河川監視<br/>                     国土交通省 富士山監視<br/>                     南極地域観測隊 昭和基地<br/>                     IoT農園 ベトナム<br/>                     ロジスティック ベトナム<br/>                     ※本実証実験に近い導入実績のみ</p> | <p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <p>交通・モビリティ</p> <p>エネルギー</p> <p>物流</p> <p>防災</p> <p>観光</p> <p>教育</p> <p>健康・医療</p> <p>環境</p> <p>産業</p> <p>担い手確保・人材育成</p> <p>その他</p>  |
| (2)(1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ  | <p>離島におけるIoTの課題はその特殊性から本島で求められる技術では対応できない場合が多い。</p> <p>本提案では下記3つを解決するテーマとする。</p> <p>①ロバスト(環境の変化といった外乱の影響)による通信性能障害<br/>                     ②低コストでのネットワークインフラの構築<br/>                     ③低コストで簡単なメンテナンスシステムの構築</p>   |
| (3)その他   | <p>本実証実験ではアマチュア無線を使った通信技術を使う。<br/>                     理由:業務用の無線設備で送信免許とるのは、仕様もきちんと決めないと無理だが、アマチュアであれば実験段階で免許とれるので実験するには便利の為。<br/>                     アマチュア無線は、低い周波数から高い周波数まで使えますが、今回は比較的低い周波数(数百MHzくらい)を使い高出力で送信したい。<br/>                     430MHzであれば、100Wとかも出せる。さすがに、21MHzとかで1kWだしても、通信速度が遅くてIP通らないので、そこそこの周波数(VHF-UHF帯)で高出力。<br/>                     離島間であれば、10W-50Wくらいで十分と予想する。</p> <p>以上やることにより、離島にも関わらずあたかも5Gの環境のようなサービス運用をめざす。</p> |

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。  
 ※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。  
 ※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

| 部局名              | 担当者   | 連絡先(電話)      | 連絡先(メール)   |
|------------------|-------|--------------|--|
| ジーマックスソリューション(株) | 大井 淳司 | 03-5315-4065 | <a href="mailto:ohi@zms.co.jp">ohi@zms.co.jp</a> |